

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理

収入の確保…利用者の入所を確保し、サービス推進費等の努力加算を積極的にとる。

利用者の信頼・安心…利用者の気持ちに寄り添い、ていねいに対応する。
職員の自信と誇りの回復…運営指針等を通して、施設の特徴を理解しながら業務の役割と情報共有を図る。

2. 各事業、施設としてのサービスの向上

利用者の満足に向かって…自立支援計画をもとに利用者対応を共有し、子ども・母親にとって必要な支援を行う。

地域ニーズの把握…運営協議会や関係機関との会議等で地域のニーズを把握して、事業展開に繋げる。

3. リスク管理

防災・減災…「火を出さない」を徹底して、万一災害が生じた時はBCPをもとに対応できるように訓練を重ねる。

予防…感染症や事故予防を心がける。また、ヒヤリハットの分析を重ねることで職員の意識向上につなげる。

早期対応…事が起こった時には、速やかに早期に報告・連絡・協議を行い、職員全員が一体となって対応する。

適切な対応…利用者からの要望等に耳を傾け、各署会議で検討する。

4. 建物管理

計画的な取り組み…将来予定している大規模修繕に向けて、施設内外の設備修繕計画、および資金計画を充実させる。

施設の取組

小規模多機能施設の職員が情報を共有し、職員一体となって施設運営を行えるようにする。

施設組織力向上のために「施設長」「基幹的職員」「チーム責任者」「一般職」という形で組織として一体的な力を発揮できるように運営する。

非常勤職員の増加による、業務分担の適正化を図る。

利用者変化に対応するため、関係機関との連携を深めると共に研修を通して専門性を高める。